

ASEAN 大使通信
第 23 回 ASEAN 関連首脳会議と AZEC 首脳会合

2024 年（令和 6 年）10 月 28 日



ASEAN 関連首脳会議後の石破総理内外記者会見
(2024 年 10 月 11 日、於ビエンチャン、内閣広報室提供)

10 月は日本にとって激動の月でした。10 月 1 日に石破総理が就任して新内閣が発足。そして、国会での所信表明演説と代表質問、党首討論を経て、9 日には衆議院が解散されました。石破総理はその深夜に東京を出発し、10 日～11 日に初外遊としてラオスのビエンチャンで ASEAN 関連首脳会議に出席しました。第 2 回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合もこの機会に開催できました。そして、27 日には衆議院選挙が行われ、即日開票されました。

私は総理のビエンチャン訪問の 4 日前に現地入りして成果文書交渉にあたり、一連の首脳会議にも同席しました。翌週にはジャカルタで ASEAN 議長国・次期議長国常駐代表とレセプションを共催し、その翌週はブルネイに出張して日 ASEAN 防災閣僚級会合とインド洋津波 20 周年記念式典に出席しました。

今回の大使通信では、一連の ASEAN 関連行事について、現場から見ての成果と感想をご報告し、今後の取組について皆さんと一緒に考えたいと思います。



カオ・キムホン ASEAN 事務総長とのワーキングランチ
(2024 年 10 月 3 日、於大使公邸)

●カオ・キムホン ASEAN 事務総長とのワーキングランチ

カオ・キムホン ASEAN 事務総長は、ASEAN 憲章上、ASEAN を代表して対外的に ASEAN の立場を表明する権限を持つなど重要な役割を担い、ASEAN 内外で開催される会合への出席のため頻繁に出張しています。その合間の 10 月上旬に、カオ事務総長を公邸での[ワーキングランチ](#)にお招きしました。

議題の一つはカオ事務総長の訪日です。本年 12 月に京都で開催される[日 ASEAN 未来世代ビジネスリーダーズフォーラム](#)と東京で開催される[日 ASEAN 経済共創フォーラム](#)の機会を捉えてのカオ事務総長の訪日に向けて、打合せを行いました。ASEAN 事務総長の訪日は、日 ASEAN 協力を強化する絶好の機会です。その準備は代表部の大事な仕事です。これまでカオ事務総長は、就任直前の一昨年 12 月に訪日し、昨年は日 ASEAN 友好協力 50 周年ということで 6 月・7 月・10 月・12 月の 4 回、本年は既に 5 月に訪日して、閣僚から学生まで幅広い層との対話を深めています。5 月の訪日に同行した渡辺哲也 ERIA 事務総長にも、今回同席いただきました。

それに加えて、翌週の ASEAN 関連首脳会議の見通しについてもお話を伺いました。ASEAN 事務総長は ASEAN 関連の主要会合に全て出席・参画しているので、ASEAN の喫緊の課題への対応振りや中長期的な方向性を知る上でも、今回のワーキングランチは大変貴重な機会となりました。



ASEAN 首脳会議

(2024年10月10日、於ビエンチャン、内閣広報室提供)

●ASEAN 関連首脳会議

10月10日～11日、石破総理は就任後最初の外国訪問として、[ASEAN 関連首脳会議](#)に出席しました。インド太平洋の主要国首脳が一堂に会する極めて重要な会議で多くの首脳に直接会い、日 ASEAN 関係の更なる強化や北朝鮮、東シナ海・南シナ海を含む地域情勢・国際情勢について、日本の立場を力強く発信する、貴重な機会となりました。

今回、石破総理は、[日 ASEAN 首脳会議](#)、[ASEAN+3（日中韓）首脳会議](#)、[東アジア首脳会議（EAS）](#)に出席し、[アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合](#)を開催した他、[韓国](#)・[中国](#)・[ラオス](#)・[豪州](#)・[インド](#)・[ベトナム](#)との二国間会談や各国との立ち話を行いました。

特に ASEAN 関連首脳会議では、日本が半世紀以上にわたり築いてきた ASEAN との「心と心」の繋がる真の友人としての関係を更に強化する決意を伝え、GX や DX といった新分野での協力推進を表明しました（[日 ASEAN 協力広報資料](#)）。また、安全保障環境が激変する中で、主権及び領土一体性の尊重等の国連憲章の原則がますます重要になっていること、力による一方的な現状変更は世界のどこであれ認められないことを、改めて明確に発信しました。



第2回 AZEC 首脳会合
(2024年10月11日、於ビエンチャン、内閣広報室提供)

●第2回 AZEC 首脳会合

今回は、昨年12月の[第1回 AZEC 首脳会合](#)の東京開催に続き、ASEAN 関連首脳会議の機会を捉え、同じ会場で[第2回 AZEC 首脳会合](#)を開催することができました。AZEC は、経済成長・エネルギー安全保障と両立する形で、多様な道筋の下、ネットゼロに向けた取組をアジアで共に進めていくための重要な枠組みです。

今回の会合では、個々のプロジェクトの実施に加え、ルール形成を含む政策協調へと AZEC を新たな段階に進めるため、今後10年のための[行動計画](#)に合意しました。この行動計画は、(1) アジアの脱炭素化に資する活動を促進するルール形成を含む「AZEC ソリューション」の推進、(2) 温室効果ガス排出量の多いセクターの脱炭素化及び排出削減を促進するためのイニシアティブ始動、(3) 具体的なプロジェクトの推進、の3つを柱とするものです。

石破総理からは、第1回 AZEC 首脳会合以降、日本と AZEC パートナー国との間で、[約120件の MOU 等協力案件](#)が結ばれたことを紹介しました。今回の「ASEAN 関連首脳会議の場での AZEC 首脳会合開催」という大きな成果を踏まえ、プロジェクトと政策協調の双方が一層進展することを期待しています。



ASEAN 関連首脳会議後のラオス・マレーシア・日本共催レセプション
(2024年10月18日、於大使公邸)

●ASEAN 関連首脳会議のフォローアップ

ASEAN 関連首脳会議に際しては、在ジャカルタの ASEAN 各国常駐代表、対話国代表部大使をはじめ多くの関係者がビエンチャンに出張し、事前準備と当日の対応に当たりました。例えば、東アジア首脳会議（EAS）参加国の常駐代表・代表部大使は4日前から連日会合を開催し、成果文書交渉を行いました。

首脳会議直後の週末には、一連の会議の首脳声明、議長声明など成果文書が ASEAN 事務局の[ウェブサイト](#)で公表されました。翌週の15日にはカオ・キムホン ASEAN 事務総長が ASEAN 本部事務局で[成果ブリーフィング](#)を行い（[動画](#)）、私も各国常駐代表・代表部大使とともに出席して耳を傾けました。

ASEAN 関連首脳会議は、在ジャカルタの ASEAN 関係者にとって本年の最大の山場でした。その成功を祝しつつ謝意を伝え、来年に向けての展望を語り合うために、議長国ラオスのポー常駐代表、次期議長国マレーシアのサラ常駐代表との共催によるレセプションを日本大使公邸で開催しました。幅広い関係者が今回の会議を振り返り、お互いに謝意を伝える良い機会になったと思います。



日 ASEAN 防災閣僚級会合
(2024 年 10 月 24 日、於バンドル・スリ・ブガワン)

●日 ASEAN 防災閣僚級会合とインド洋津波 20 周年記念式典

その翌週は、[日 ASEAN 防災閣僚級会合とインド洋津波 20 周年記念式典](#)に出席するため、ブルネイの首都バンドル・スリ・ブガワンに出張しました。

10 月 24 日の[日 ASEAN 防災閣僚級会合](#)には、日本側は内閣府の貫名功二審議官（防災担当）、ASEAN 側は議長のアフマディン・ブルネイ内務大臣をはじめ各国防災大臣や代理が出席しました。日本からは、ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センターへの長年の協力に加え、同センターに対する JICA の ICT 支援や ASEAN の 2026 年～2030 年の防災行動計画策定支援を表明し、高い評価を受けました。なお、出張直前に、一橋大学で日 ASEAN 防災協力についてのオンライン講義を英語で行いました。よろしければ[資料](#)をご覧ください。

翌 25 日にはオールドモスク前の公園で[インド洋津波 20 周年記念式典](#)が開催されました。皆で被災当時を振り返り、将来の防災協力の決意を新たにする機会となりました。

今回、ブルネイの[首相府](#)・[外務省](#)関係者ともお会いして、同国に設置予定の ASEAN 気候変動センター（ACCC）や同国主導の[ASEAN ジュニアフェロシッププログラム（AJFP）](#)への協力等についても協議することができました。



議長国ラオスのポー常駐代表との記念写真
(2024年10月10日、於ビエンチャン)

●本年の成果と教訓を来年に生かす

本年の ASEAN 関連首脳会議は終わりましたが、一息ついた今は、今回の成果と教訓を振り返り、来年に向けての新たなスタートを切る時でもあります。

本年の首脳会議に際しては、ASEAN 代表部でも、昨年 12 月の日 ASEAN 共同ビジョン・ステートメントの実施計画 130 項目を 44 主要協力分野に整理した [日本語](#)と[英語](#)のウェブサイトを立ち上げました。今後、関係省庁・機関とも協力しながら、「案件形成」と「見える化」を一層推進していきたいと思います。

来年の ASEAN 首脳会議では、ASEAN 共同体ビジョン 2045 が採択される予定です。東アジア首脳会議（EAS）も設立 20 周年を迎えます。日本としても、インド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）への積極的な協力をはじめ、ASEAN 主導の地域協力枠組みを一層強化する取組を進めていくことが重要です。これから来年に向けて、是非皆さんと一緒に、幅広い分野での ASEAN 協力を更に前に進めていければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦